

第664回

I B C番組審議会 議事録

－議 題－

I B Cテレビ「忘れない3. 1 1 地域を“おこす”若者たち」

2021年10月14日（木）

㈱ I B C 岩手放送

第664回IBC番組審議会

1. 開催日時 2021年10月14日(木)～10月22日(金)
2. 開催場所 書面開催
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 10名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 高橋 司 新里 真士 |
| | 小松 務 郷右近 勤 |
| | 片岡 千夏 藤野 静枝 |
| | 龍澤 尚孝 澤口 たまみ |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|----------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 眞下 卓也 | 常務取締役 |
| 若槻 修 | 報道制作局長 |
| 若林 高行 | メディア編成局長 |
| 宿輪 智浩 | 報道部長 |
| 宮本 大毅 | 報道部記者 |
- 事務局
- | | |
|--------|-----------|
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局長 |
| 向井田 真衣 | 番組審議会事務局員 |
| 吉田 美涼 | 番組審議会事務局員 |
4. 議 題 IBCテレビ「忘れない3.11 地域を“おこす”若者たち」
2021年9月20日(月)
午前10時50分～11時20分放送

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

○東日本大震災から10年半の節目、当時小学6年生と中学3年生だった若者がどの様に成長して、地域を支える力になっているかが伝わる、地元愛・宮古愛に溢れる番組だった。家族、親戚、幼なじみ、自分の生きてきた背景が全てある場所で、周りを巻き込みながら、活躍し続ける姿は見ていて潔く、特に今回取り上げられた二人には、共通して意思の強さや行動力が感じられ好感が持てた。

○心にある辛い想いを胸に都会へ、また海外で学んだことを積み立てやがて古里の復興に情熱を向けていく姿に涙がこぼれた。

○今回の番組は、出演者の話しとインタビューがメインで進行しており、復興道路のテープカットの場面や、人口減少の表等は違和感があった。たとえば、視野を広げたいとアメリカに留学した吉浜さんに、アメリカで思ったふる里とはどういう所だったのか、意識がどのように変わったのか、得る事ができた事は何だったのか等、インタビューして、まとめた方が、統一感があったのではと思った。

○マスク時代の番組作りの難しさを感じた。マスクを着用しての談話は出演者の表情を見ることができず、地域おこしのなかで感じたであろうさまざまな思いについては、ストレートに伝わってこないもどかしさがあった。

○登場人物の関係、つながりについて説明が不十分で消化不良の部分があった。

○紹介する若者2人のうち、できれば1人は女性にしてほしかった。その他の出演者もほとんどが男性だったのは少々残念。

○震災後10年が経過し復興の一方で未だ課題も見られる被災地に未来への希望を感じさせる好番組だ。地域おこし、地域づくりに関わる若者は、今の中学生・高校生でもユニークな発想で地域づくりに取り組む青少年も結構多いように思う。地域づくりに参画する若い世代や大人たちの広がりや輪が見られるのであれば、その活動や輪の広がりを紹介してほしい。